



古都っ子だより

2022年2月15日号
岡山市立古都小学校

＜心豊かにたくましく生きる児童の育成＞ 元気な子 やさしい子 考える子

本年度も残り1ヶ月 しっかり力をたくわえて、新しい学年に!!

いよいよ本年度も残り1カ月程となりました。

運動場に立っている桜の木。4月には見事な花を咲かせてくれるので、多くの子どもたちが楽しみにしていますが、この時期に桜の木を眺めている子どもは見られません。この時期は、4月の頃の花をたくさんつけた華やかな姿とは違って、寂しい感じがします。しかし、確かに花や葉っぱをつけていないかもしれませんが、根をしっかりはって、そこから土の栄養をもらい、4月に花を咲かせる準備をしています。これもまた、美しい桜の木の姿を表していると思います。それは、冷たい風や寒さに耐えながらも、自分の花を咲かせようと、がんばっている美しさです。そのがんばっている証拠に、今たくさんのつぼみをつけています。子どもたちにも、「見える美しさもいいけれど、見えないところでの美しさがあるんだ」ということに気づいて、残りの1カ月がんばってほしいと思っています。4月に、また新しい「自分だけの花」を咲かせるために・・・



～ 校内風景…こんなことがありました ～

【1/14 PTA教育講演会】

PTAの方々と高学年の児童が参加する予定だったPTA教育講演会でしたが、岡山市のコロナ感染者急増により、児童のみ参加する形式で講演会を実施しました。

今年お招きした講師は、竹内昌彦様（NPO法人ヒカリカナタ基金理事長）。「私の歩んだ道～見えないから見えたもの～」というテーマで講演していただきました。

竹内先生は病気がもとで幼い頃に視力を失いました。幾多の挫折や絶望を味わいながらも、持ち前の負けん気と、無償の愛を注いでくれた両親や、恩師・仲間との出会いにより、前を向き夢を持ち続けることのできた生い立ちをお話くださいました。

竹内先生の気持ちのこもったお話から、「元気な体に感謝し、それを活かした意義のある人生を目指そう」「人に感謝するとともに、感謝される喜びもたくさん経験しよう」「勉強とは、自分のためにするのではなく、立派な大人になって、周りに幸せをあげるためにするもの」等、たくさんの気づきをいただきました。

竹内先生は、講演や執筆活動で得たお金で、モンゴルやキルギスに盲学校設立や、目の見えない子を手術で治す活動を推進しているそうです。



【1/19「あいさつマップ」贈呈式】

1月19日、「あいさつマップ」の贈呈式がありました。これは、岡山県警察本部少年課から寄贈していただいたもので、登校指導に立ってくださっている場所を「あいさつスポット」としてあいさつ運動に取り組んだり、地域の危険な場所を示して安全指導に利用したりすることができます。



【2/8 4年生 備前焼給食】

岡山県学校給食会のご厚意で備前焼の器をお借りし、4年生が給食をいただきました。いつも食べているおいしい給食ですが、器を変えることで、また一つグレードアップした給食になりました。

岡山県の大切な伝統工芸である備前焼について学ぶだけでなく、実際に職人の方の技術を見たり、作品作りに取り組んだり、さらに、その器で食事をしたりする経験を通して、ふるさとの自慢を大切に思う気持ちだけでなく、守り、広めようとする態度につながればと考えての取り組みです。

今年度は、まん延防止等重点措置が岡山県にも適用されたため、備前焼体験は延期になっていますが、社会科で学習した内容と関連させて、学校近くの丸二陶材さんにお世話になり、2月末には備前焼体験を行う予定にしています。

